

第18回 北九州市景観審議会 議事要旨

日時：令和元年8月8日(木) 10:00～12:00

場所：北九州市役所本庁舎5階 特A会議室

出席者：

委員 赤川 貴雄、井上 龍子、大森 今日子、小鉢 由美、貞包 健一、柴田 加奈子、
島田 貴博、田中 康子、松山 祐子、三笠 友洋 10名

(欠席：柴田 久、竹内 陽平、福島 規子、御園 和穂、横山 麻季子 5名)

事務局 総務部長 二宮、都市景観課長 石原、景観形成係長 山本、
景観づくり支援係長 古田、主査 矢野、友澤

議事 北九州市景観計画の変更について

◆景観形成基準

【色彩】

(委員) 寒色系の色彩基準について、彩度を6から3に下げたことはよいと思う。

(委員) メインカラーとサブカラーの定義と範囲を明確にした方がよい。

(事務局) サブカラーは、アクセントカラーとメインカラーの中間に位置する色彩として定性的に考えていたが、ご指摘のとおり、本市の色彩基準に組み込むには明確な定量基準でなければ効果が弱い。必要性を含め再検討したい。

(委員) 木などの天然素材を使用する場合も色彩の規制の対象になるのか。また着色した場合はどうか。

(事務局) 自然素材を使ったものは対象外で、人工的に着色したものは対象となる。

(委員) 壁面のグラフィックデザインの規制に関する表現は、今後も引き続き検討をお願いしたい。

【壁面後退】

(委員) 壁面後退が良好なまちなみ形成に有効な場合は多いが、場所によって後退せずに壁面線を揃えることが有効な場合などもある。条件付けなど追加してはどうか。

(事務局) 壁面後退だけととられない表現に修正したい。

【ゴミ置き場等の施設】

(委員) ゴミ置き場等を道路に面しないところに設置する基準は、他部局との調整が必要で現実的な課題があるが、景観の視点から記述をすることは必要。

【夜間景観】

(委員) 色温度の協調や、ライトアップされたランドマークへの配慮など、周辺を含めて夜間景観を向上できるような基準とするべき。

【屋外広告物】

(委員) デジタルサイネージに関する記述は必要である。

◆北九州市景観計画 本編

(委員) 見やすいフォントを使用してほしい。

(委員) イラストを使用して解説しているのはよいと思うが、内容をより充実させてほしい。